

**製品名: PMCH ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab16300**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	IHC 1:50-1:200, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:10000-1:20000
分子量	

**抗原情報**

遺伝子名	PMCH MCH Pro-MCH [Cleaved into: Neuropeptide-glycine-glutamic acid (NGE; Neuropeptide G-E);
別名	Neuropeptide-glutamic acid-isoleucine (NEI; Neuropeptide E-I); Melanin-concentrating hormone (MCH)]
遺伝子 ID	5367.0
SwissProt ID	P20382
免疫原	アミノ酸配列範囲: 112-161 のヒトタンパク質からの合成ペプチド

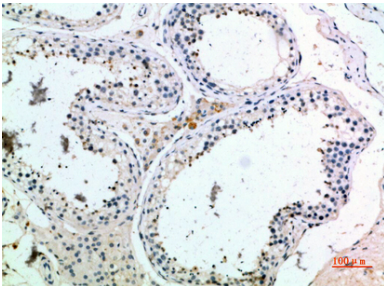
**背景**

プロメラニン凝集ホルモン (PMCH) ホモサピエンス この遺伝子は、タンパク質分解によって複数のタンパク質産物を生成するプレプロタンパク質をコードしています。これらの産物には、メラニン凝集ホルモン (MCH)、神経ペプチド-グルタミン酸-イソロイシン (NEI)、神経ペプチド-グリシン-グルタミン酸 (NGE) が含まれます。メラニン凝集ホルモンは 19 アミノ酸からなる神経ペプチドで、空腹感を刺激するほか、エネルギー恒常性、生殖機能、睡眠も調節している可能性があります。この遺伝子の擬似遺伝子は 5 番染色体上に同定されています。[RefSeq 提供、2015 年 7 月] 機能: MCH は、摂食や一般的な覚醒など、目標指向行動の調節に関わる幅広い神経機能において、神経伝達物質または神経調節物質として作用する可能性があります。精母細胞の分化にも関与している可能性がある。、PTM:脳および末梢臓器で異なる処理を受け、2つの神経ペプチド、NEI と MCH を生成する。3 番目のペプチド、NGE も生成される可能性がある。プロホルモン転換酵素 2 (PC2) によるニューロンでの優先的な処理により、NEI が発生する。MCH は、PC1/3、PC2、PC5/6 などのいくつかのプロホルモン転換酵素によって、外側視床下部領域のニューロンで生成される。、類似性:メラニン凝集ホルモンファミリーに属する。、組織特異性:主に外側視床下部で発現し、淡蒼球、大脳新皮質、小脳でも検出される。また、胸腺、褐色脂肪組織、十二指腸、精巣 (精原細胞、初期精母細胞、セルトリ細胞) にも見られる。末梢血では発現しない。脳では、成熟した MCH および NEI ペプチドのみが存在している。末梢組織では、前駆体の NEI ドメインと MCH ドメインを含む大きな産物が主に見つかります。

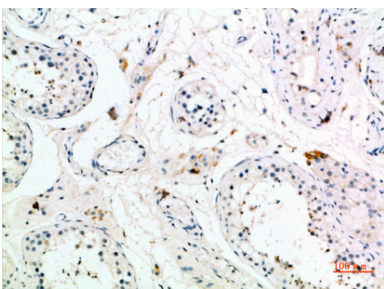
## 研究分野

-

## 画像データ



パラフィン包埋ヒト精巣の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された



パラフィン包埋ヒト精巣の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された